

令和８年度 第３回 大阪市障がい者施策推進協議会 精神障がい者地域生活支援部会

１．日 時：令和８年３月１３日（金）（書面開催）

２．委 員：芦田委員、加藤委員、澤委員、栄委員、潮谷委員、
島田委員、たにぐち委員、新田委員、松岡委員、安田委員

３．議 題

（１）障がい者等基礎調査（精神科病院入院者用）の調査報告について

（２）令和８年度大阪市障がい者施策推進協議会 ワーキング会議 委員について

４．議事要旨

議題１．障がい者等基礎調査（精神科病院入院者用）の調査報告について

- 長期入院が継続する背景について、住む家がない、という結果が書いてあるが、このことから鑑みれば、入院は３か月未満にとどまるようにすべき。持ち家や家族があるからといって、３か月以上になってもよいと考えるのも正しいとは言えない。
- 長期入院を継続する理由で家族に対する想いが大きいがそれに変わる安心できる環境や人が重要ではないか。
- 高齢者の地域移行が多くなる中、介護保険事業者とどう連携していくのかが課題だと考える。
- 地域包括等介護保険関係者にも精神科病院の長期入院者の実態を知ってもらう機会をつくることが重要。
- 長期入院が継続する背景で、看護ケアを受けていない人は１０．３％にとどまり、約９割は服薬管理や入浴など何らかの看護ケアを受けていることから、長期入院者の多くは日常生活の支援を必要としていると考えられる。

議題２．令和８年度大阪市障がい者施策推進協議会 ワーキング会議 委員について
事務局より提案・説明を行い、了承された。